

第8回 会員便り

ふれあい

望月喜彦（峡南地区）

その1

「心あたたかく」

平成23年3月14日、イギリスから電話がありました。3月11日はあの東日本大震災の日です。

「望月先生のところは だいじょうぶ何ともなかったですか、、、。心配していましたよ、、、。どうですか。」以前、日本語を教えていたポール君からの電話でした。

「だいじょうぶ。生きているよ。元気だよ。ありがとう、ありがとう。」私は心を打たれ、ジーンとしてきました。人間社会で最も大事なものは心だとしみじみ感じました。

その2

「傘字見て、ニッコリうなずく 英語圏 」 （川柳・喜彦）

この川柳は、外国人に日本語を教えていたある日のことです。

私も、ハハハ、、、と、言ってしまいました。